

南アルプス市立八田中学校 前期自己評価書

令和元年8月20日(火)作成

学校長：穴水 秀人

記述者：教頭 小林 雅人

【八田小中一貫校の教育】

1. 教育目標

「ふるさとの未来（あす）を創造するたくましい児童生徒の育成」
～知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指して～

2. 『八田 Children first 』

小中一貫校八田小中学校の教育は、「1. 学習を繋ぐ 2. 児童生徒を繋ぐ 3. 教職員を繋ぐ 4. 学校・家庭・地域を繋ぐ」の4つの「繋ぐプロジェクト」をコンセプト（『八田 Children first 』）に、義務教育9年間を連続させた教育に取り組みます。

3. めざす児童生徒像

- ふるさとを大切に思う児童生徒
- 変化の激しい、先行き不透明な社会に適応できる主体性のある児童生徒
- 自律（自主）性・豊かな人間性を持ち、たくましく生きていくための健康・体力を持った児童生徒

【学校経営の概要】

1. 校訓 「日日新」

2. 学校教育目標

心豊かで かしこく 心身ともに健やかな生徒の育成

3. めざす生徒像

＝「知育・徳育・体育」の調和のとれた人間形成＝

は 励んで学び、確かな知識を持つ生徒 (知育) → 知の力

つ 強い精神と身体を持つ生徒 (体育) → 体の力

た 助け合い、いたわり合う心を持つ生徒 (徳育) → 心の力

『当たり前のことを 当たり前にする』

4. 学校経営方針

- (1)職員の創意・工夫により、開かれた特色ある信頼される学校づくりに努める。
- (2)生徒理解を深め、一人一人のよさや可能性が活かされるよう努める。
- (3)教職員としての資質能力の向上を図り、信頼される教育活動の実践・展開に努める。
- (4)家庭・地域との連携により、望ましい教育環境づくりに努める。

5. 生徒の努力目標

- (1)授業にしっかり取り組もう（主体的・能動的・積極的に取り組めたか）
- (2)さわやかに挨拶をしよう（今日の、この出会いを大切に出来たか）
- (3)思いやりの心を行動につなげよう（相手の身になって考え行動できたか）
- (4)主体的に活動しよう（3本の木を大切に、創意工夫を持って取り組めたか）

6. 教師の努力目標

- (1)社会や地域の変化に対応できる力を持ち、常に自らを見つめ直していく教師
- (2)異なるものを受け入れ児童生徒の特性を見だし伸ばしていく教師
- (3)教職に対する責任感、探究力を持ち、生涯にわたり学び続けていく教師
- (4)教員と生徒、また教師同士で互いに学び合い、育て合っていく教師

7. 学校経営の努力点

- (1)知・徳・体の調和の取れた、「生きる力」をはぐくむ教育課程の編成と実施に努める。
- (2)自ら学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着を図る指導に努める。
- (3)豊かな人間性をはぐくみ、心の安定を図る生徒指導に努める。
- (4)体力・健康・安全に関する指導の充実に努める。
- (5)家庭・地域・関係機関との連携を深め、開かれた信頼される学校づくりに努める。

I 全体評価

1. 教職員の自己評価

※本年度南アルプス市より「小中一貫校八田小中学校」に制定され、自己評価の項目も小学校と同一のものとした。

(1) 本年度の特徴

① A・B（肯定的評価）の合計が100%の項目について

- 「学校経営 1：生徒は楽しく学校生活を送っている」
- 「学校経営 3：学校教育目標達成のために『授業づくり』『安全・安心な学校生活』『いじめのない学校』の教育活動に取り組んでいる」
- 「学校経営 4：学校は家庭に適切な連絡や情報提供を行っている」
- 「学校経営 5：生徒の安全が確保されるように教育環境を整えている」
- 「教育課程・学習指導 9：わかる授業に努めている」
- 「教育課程・学習指導 10：生徒が意欲的に取り組む授業づくりをしている」
- 「生徒指導 15：生徒とのコミュニケーションをとることで、生徒理解に努めている」
- 「生徒指導 16：いじめなどのない楽しい学級づくりに努めている」
- 「生徒指導 17：保護者とは密に情報交換し、指導に取り組んでいる」
- 「特色ある開かれた学校 19：開かれた学校を意識した、学校開放日等、保護者や地域に対し努力している」
- 「特色ある開かれた学校 21：合唱活動の充実や体育祭等の特色ある学校行事が充実するように努めている」

② A・B（肯定的評価）の合計が90%未満の項目について

- 「学校運営 2：生徒は小中一貫校の教育目標『ふるさとの未来（あす）を創造する児童生徒の育成』達成に近づくため、各自の目標を持って学校生活を送っている」（76%）
- 「教育課程・学習指導 11：八田小中スタンダード（含む、教科別年間指導計画）を活用している」（72%）
- 「教育課程・学習指導 12：八田小中学習スタンダード（学習プロセス・学習ツール）を意識した授業づくりを進めている」（83%）
- 「教育課程・学習指導 14：計画的な家庭学習の手立てをしている」（83%）
- 「特色ある開かれた学校 22：小笠原流礼法を意識させ、心と体のバランスのとれた生徒の育成に努めている」（85%）

③ D（否定的評価）がついた項目について

- 「特色ある開かれた学校 20：教育活動等の中に地域の人材や施設を利用し、地域の教育力を生かす体制が整えられている（学校応援団や子供を守る会など）」

(2) 2学期の取組課題（自由記述より抜粋）

- ・児童生徒にも、小中一貫校であることをもっと意識させたい。
- ・小中一貫校の教育目標を達成するために、まずは授業改善である。授業改善では、これまで作り上げてきた授業を見直し、思い切ったチャレンジをする必要がある。
- ・板書グッズを全クラスで活用して、授業を進めていきたい。
- ・授業で人の話を集中して聞く（姿勢も含めて）スタンダードが定着していない。（特に1年生）
- ・家庭学習の習慣が定着していない生徒が多く、提出物が期限内に出せていない生徒が多い。
- ・「家庭学習」については、単なる課題ではなく、授業で得たことを深化させることができることよい。
- ・あいさつがさわやかにできるようにしていきたい。
- ・ロッカーの整理整頓が課題だ。
- ・玄関の靴も含め、「揃える」という意識をもっと大切にしたい。
- ・「学校・家庭・地域との連携」や「地域の教育力を生かす体制」については、一貫にも関わり最重要課題である。
- ・地域の方にも来ていただけるような取組がほしい。
- ・小中一貫（連携）教育を今後さらに推進していくため、又、道徳が教科化されるため、今までの行事の精選を早急にしていくべきだと思う。教員が、いっぱいいっぱいになってしまう感も否めない…。
- ・生徒ひとりひとりが、時間・行動その他、はじめをつけて生活できるよう指導していきたい。
- ・清掃活動を、全員が時間いっぱい、一生懸命取り組めるよう指導したい。
- ・「業務改善」については、八田中の特色を活かしつつ、改善をする必要がある。
- ・長期欠席の生徒が多いのも課題だ。

2. 学校生活に関する生徒アンケート

※今年度より小学校とほぼ同様の項目とした。ただし、発達段階が違うので表現が少し異なっている。

(1) 本年度の特徴

① A・B（肯定的評価）の合計が80%以上の項目（全校集計から）について

20項目中13項目において、肯定的評価が80%以上となっている。また、90%以上が7項目あり、各学年においては、以下のようである。

② C・D（否定的評価）が高い項目（80%未満）について

ア 3年生の評価

12項目。

「あなたは、学校生活が全般的に楽しいと思いますか」（73%）

「あなたは、授業中発言をしますか（小グループでの話し合い時も含む）」（70%）

「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか」（61%）

「あなたは、学校や学年・学級へ提出するものが出せていますか（宿題等も含む）」（75%）

「あなたは、宿題以外にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）に取り組んでいますか（自主学习ノートを含む）」（66%）

「あなたは、家で読書をしていますか（宿題を除く）」（49%）

「あなたには、悩みごとなどを相談できる友だちがいますか」（79%）

「あなたは、困ったことや心配なことがあったら、先生に相談しますか」（66%）

「あなたは、規則正しい生活（早寝・早起き・朝ごはん）ができていますか」（74%）

「あなたは、体力づくりに取り組んでいますか（部活動を含む）」（80%）

「あなたは、平日の睡眠時間はどのくらいですか」

9時間以上…4人 8時間ぐらい…16人 6～7時間ぐらい…35人 6時間未満…9人

「あなたは、家の人に学校の様子を話していますか」（74%）

イ 2年生の評価

5項目。

「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか」（60%）

「あなたは、学校や学年・学級へ提出するものが出せていますか（宿題等も含む）」（77%）

「あなたは、家で読書をしていますか（宿題を除く）」（48%）

「あなたは、困ったことや心配なことがあったら、先生に相談しますか」（49%）

「あなたは、平日の睡眠時間はどのくらいですか」

9時間以上…14人 8時間ぐらい…14人 6～7時間ぐらい…32人 6時間未満…1人

ウ 1年生の評価

6項目。

「あなたは、授業中発言をしますか（小グループでの話し合い時も含む）」（58%）

「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか」（69%）

「あなたは、宿題以外にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）に取り組んでいますか（自主学习ノートを含む）」（61%）

「あなたは、家で読書をしていますか（宿題を除く）」（71%）

「あなたは、困ったことや心配なことがあったら、先生に相談しますか」（69%）

「あなたは、平日の睡眠時間はどのくらいですか」

9時間以上…13人 8時間ぐらい…26人 6～7時間ぐらい…20人 6時間未満…2人

(2) 備考欄への記述

・授業の進みがはやい。

(3) 2学期の取組課題（肯定的評価が80%未満の7項目を課題とする）

「あなたは、授業中発言をしますか（小グループでの話し合い時も含む）」（69%）

「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか」（63%）

「あなたは、学校や学年・学級へ提出するものが出せていますか（宿題等も含む）」（72%）

「あなたは、宿題以外にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）に取り組んでいますか（自主学习ノートを含む）」（72%）

「あなたは、家で読書をしていますか（宿題を除く）」（55%）

「あなたは、困ったことや心配なことがあったら、先生に相談しますか」（61%）

としているのか理解できません。学校の環境をもっと良くしてほしいです。

・同じようにアンケートを毎年行っているが、アンケートの結果や意見が表に出てこない。他校の進学情報（学校通信）を見たが、どこの高校へ何人と詳しく出ていた。本校は人数などの情報がない。（先輩からの）自主学のアドバイスや生徒の意見やイベント毎の感想を掲載していてとても読みやすく、学校全体の情報がわかるものになっていた。進級するにあたり、前担任からの引継ぎや申し送りのようなものができていないと感じた。自主学を提出しない生徒がいる。提出している生徒のやる気を失くす→自主学の徹底をしてほしい。

・毎年このアンケートが同じ内容ですが、役に立っていますか？親からしますと、あまり意味がないような気がします。どうなんですか？9番の評価項目（いじめの未然防止は、学校は全然指導はしていない気がします）。

・学校行事についてのメールでお知らせがあるのはありがたいのですが、本日の「合唱集会」では時間のお知らせも無く、プログラムにも記載も無く困りました。プログラムにぜひ時間も書いて欲しいです。

・学校からのたよりは先生方の思い、子供達の声が身近に感じ、あたたかく読んでいます。この中学時代の経験、この時の自分や友達の思いを大切に感じてもらいたい。大人になっても忘れない子供に成長して欲しい。そんな親の思いをくんだたよりになっていると思います。先生方、ありがとうございます。

・学校からのおたよりで、今後の予定などを知らせてもらっていますが、子供が時々出すのを忘れていたりすることもあるので、大事な予定（例えばお弁当の日など）や特別なイベントなど、学校メールを通してもっと保護者にも知らせてもらえるととても助かります。

（3）2学期の取組課題（肯定的評価が90%未満の7項目を課題とする）

「学校は、小中一貫校（分離型）教育を意識して教育活動に取り組んでいると思いますか」（86%）

「お子さんは、授業の内容が分かっていると思いますか」（77%）

「お子さんは、宿題（課題）を忘れずにしていますか」（77%）

「お子さんは、宿題の他にも家庭学習（塾や家庭教師は除く）をしていますか」（56%）

「お子さんには、困ったことがあった時に相談などのできる友だちがいると思いますか」（88%）

「学校には、お子さんのことで相談できる先生がいますか」（85%）

「学校は、いじめの未然防止や子どもたちの間違っただ行動などに対して、指導していると思いますか」（87%）

Ⅱまとめ(成果と課題)。

「教職員自己評価」「生徒アンケート」「保護者アンケート」の結果から、特に、今後以下の事柄について改善をしていく必要がある。

(1) 学力向上のための取組

【成果】

- 南アルプス市より「学びの質を高める授業づくり推進事業」の指定を受け、昨年度から指定を受けている八田小学校の研究成果を学んできた。そして、本年度「南アルプス市立八田小中学校」として新たなスタートを切り、小中一貫校として義務教育9年間を見通した教育課程を実施しようとしている。
- 生徒自ら（生徒会の取組）が、授業規律について考えることができた。

【課題】

○「教職員の自己評価」から明らかなのは、生徒の授業に取り組む姿勢や家庭学習に課題があるということだ。また、「生徒アンケート」から、授業中の発言をしない生徒も少なからずいて、学習姿勢もあまりよくないことがわかる。そして、家庭学習があまり行われていないことも伺われる。さらに、「保護者アンケート」からも、子どもが授業内容を分かっていなくて、家庭学習もしていないことを心配している保護者像が浮かび上がる。そこで、小中一貫校（分離型）として同一歩調で、まずは学びの質を高めていくことが肝要である。

【対策】

- 新学習指導要領実施（令和3年度完全実施）に向けて、「主体的・対話的で深い学び」が行われるように教師が授業力を高め、授業改善に努める。そして、「変化の激しい、先行き不透明な社会」にも適応できる力（「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」）を育む。そのためには、グループ討論や体験を通じた学習、他人に教える経験等の共同学習が大切である。（ベンジャミン・ブルーム提唱のラーニングピラミッドより）
- 一斉授業では発言（表現）ができない生徒も、グループ学習では自らの考えを発表しやすくなる。一方教師も机間巡視をし、一人一人の生徒の考えを見取ることが可能となる。授業内容にもよるが、可能な限り共同学習を行っていく。
- 業務改善（行事等の見直しや働き方改革等）を行うことで、生徒と向き合う時間や教材研究等の時間をしっかりと確保する。
- 八田小学校で研究してきた学習スタンダード（学習プロセス・学習ツール）を意識した授業づくりを推進する。
- 生徒会で考えた授業の取り組み方を生徒自身で徹底していく。
- 県教委から出されている「学びの甲斐善八か条」を基に、家庭学習の定着を図る。

(2) いじめ・不登校に対する取組

【成果】

- 1学期間でいじめを15件認知し、①解消している（7件）②一定の解消図られたが、継続支援中（7件）③解消に向けて取組中（1件）であった。重大事態（生命心身財産重大事態・不登校重大事態）は、今の所ない。
- 生徒総会において、生徒の総意で「いじめ0宣言」をすることができた。

【課題】

○いじめの取組について保護者に理解されていないところもあったり、まだまだ完璧ではないところもあったりする。また、困ったことがある時に相談できる友だちや先生がいないと答えている生徒や保護者も少なくない。

○学校規模からすると、不登校や不登校気味の生徒が少なくない。

【対策】

- 「学校いじめ防止基本方針」に則った取組を確実にを行うとともに、定期的に（毎年）見直しも行う。
- これからもいじめの認知を積極的に行い、早期発見・早期対応に努めていく。
- いじめの未然防止の取組（授業づくり・集団づくり・居場所づくり・絆づくり）を継続していく。
- 「いじめ対策委員会」を中心として、組織的な対応を行う。
- いじめ防止に繋がる道徳科の授業や道徳教育を充実させる。
- 生徒にいじめの4層構造（被害者・加害者・観衆・傍観者）について教えるとともに、スイッチャーやシェルター、通報者や仲裁者等になることで、いじめに苦しむ生徒を救うことができることを理解させる。
- 校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保する。
- 不登校気味の生徒に対して、保健室だけではなく、個別の部屋（相談室・学習室・会議室・パソコン準備室等）を確保し、その対応にあたる。
- いじめの被害者や不登校生徒に寄り添いながら、相談（SCを含む）や家庭訪問等を行う。
- 保護者との連絡を密にするとともに、関係機関（児童相談所・市子育て支援課・警察署・病院等）との連携をとりながら、指導にあたる。